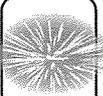


2023年9月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 白江 浩
 編集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022(243)1300
<http://www.arinomama.or.jp/>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)
 2023年9月8日発行 SSKO通巻11452号



打ち上げ花火に鎮魂の思いを込めて

難病ホスピスケア太白ありのまま舎の町内会にて、第36回茂庭台地区夏祭りが7月29日(土)、30日(日)の二日間開催されました。天候に恵まれ、盆踊りや中学生による吹奏楽、子供会の踊りやビンゴ大会等が行われ、ありのまま舎からはバザーの出店と花火を打ち上げました。

打ち上げ花火は亡くなった筋ジス患者等の仲間への弔いの意味と鎮魂の思いを途切れさせないために太白ありのまま舎が毎年企画しているものです。国立療養所西多賀病院に入院していた仲間たちが七ヶ浜の海辺で「ハレ晴れ村キャンプ」を行った際、打ち上げ花火をご協力くださった芳賀火工さんがその思いを引継ぎ現在もご支援くださっています。白江理事長からご挨拶とカウントダウンのあとにファイナーレとして花火が夜空に打ち上げられました。風が少し吹いていて天候も良く、入居者や観客の皆さんの声援や拍手等がたくさん聞こえました。入居者の方々は玄関先や屋上から花火を楽しむことができました。



太白ありのまま舎から

物価高騰で例年より少し短くなりましたが、地域の皆様にご協力頂き何とか花火の打ち上げを行うことができました。心より感謝したいと思います。ありがとうございます。

【花火協賛金を頂いた皆様】(敬称略)

福来苑・つのだ歯科医院・ヤマザワ茂庭店・セブンイレブン茂庭台店・医療法人社団 静実会

薫る風

三年前の七月、筋委縮性側索硬化症(ALS)の患者に対して、患者からの依頼を受けた二人の医師が薬物投与による囑託殺人で逮捕された。その公判の様子が時々報道される。先日もその元医師の証言が新聞で報道された。

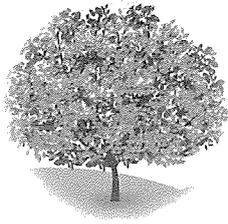
この事件は「命の選別」「優生思想」「差別と偏見」「進行する病いへの恐怖」「それを見守る周囲の人々の思い」「医師の倫理」等々、様々な課題が問われている。相通じる点も多いが、それぞれ別々に考えないと整理できずどこかで行き詰ってしまう複雑な「事件」だと思う。関わったふたりの元医師の優生思想が背景にあるが、ご本人にはそのような思いは汲み取れない。ご本人が依頼した思いはご本人がいない今、既に語られている「当時の思い」から考える他ない。「生命はそれだけで価値があり、いかなる難病、障碍があっても生きる権利があり、殺されて良い理由などない」それが結論だと思われし異論はない。でも、ALSが進行し、意識はしっかりし耳が聞こえる中で、喉も開けられず話すこともできず、自分一人では全く動けず、人工呼吸器を使い完全な閉塞状態を想像できるだろうか。進行性筋ジストロフィーも「悲惨」な病気と言われる。何が悲惨なのか。若くして急速な死が訪れるからか。身動きならぬ状態のことか。そんな患者をただ見ているだけの家族のことか。あるいは、治療できない医学や社会の状況か。自ら命を絶つことさえできず、命を絶つとしたら誰かの手を借りる必要がある。それ自体が悲惨なのかも知れない。患者自身に生きようとする気持ちをもってもらうにはどうすれば良いのか。常に死と隣り合わせの中で生きる人にとって、家族や周囲の人のみならず、この事件が突きつける問題はあまりにも重い。結論は不変でも考える必要があると思う。(白江浩)

ありのまま舎創設者
山田富也さんを想う・9月21日命日を迎えて・

透過

眠りからさめて
意識をもって
やつと空気を吸う
生きることへの実感
生き抜くことの思いが
交差する時
限られた窓の角度から
どうにか目に映る風景
澄み切った青空の中で
枯れ果てたといえども
輝いている落ち葉が
何故か
心を豊かにする
大地はにっこり
微笑を湛えて
口を開ける
私はどうにか一つ
息を吐く
生かされている
喜びも悲しみも
同じくそこにある
透きとおる
空気に溶け込み
深く深く
沁みわたっていく

(2008年11月号)



同志としての活動

(2003年9月号会報掲載)

二十数年ぶりに、ありのまま舎の基礎を築いた仲間たちが一堂に会した。
ベッドからひと時も離れられなくなつて四度目の夏。寝る間も惜しんで活動していた頃の仲間たちから感じられる貫禄と、二十四時間人工呼吸器が放せず寝たきりになった私の状態からその年月を思った。
活動の資金稼ぎのために、いろいろなコンサートを企画し、興行屋まがいのこともした。真夜中に電柱にポスター貼りをして警官に追いかけられたこと、ドキュメント映画「車椅子の青春」や映画「さよならの日は」の上映会で全国を回り、時間短縮のためと夜中に高速道路を移動したり、重なり合うようにして狭い部屋に雑魚寝したり。いま思えば若さに無茶もしたのだった。
この仲間たちはもちろん学生が本業だったが、ボランティアという関わりでは到底できない、同志として共に活動した。
また、彼らはそれを成り立たせるだけの力と情熱をもって、さまざまなことを感じては吸収し、それを自らの力として発揮していた。私にとつても刺激的だった。

当時、私たちの活動が少しずつ社会の中に広がっているという実感を得始めた時でもあった。学校を卒業し、それぞれの道に進んだ後も、共にありのまま舎の運動をしたことをいつも忘れずいてくれたそうだった。
四十半ば、それぞれの立場で責任も大きく、学生の頃の「情熱」だけですべてを乗り切れた時代とは大分違うことだろう。その中で、共に活動した日々の熱い思いを心の中で灯し続けている彼らに励ましをもらった夏だった。

同志として共に活動を行ってきた方がまたひとり旅立ちました。
1973年、仙台で第一回「車いす市民交流集会」が開催された時から共に障害者運動の一端を担ってきた菊地尊彦さんが8月にご逝去されました。当事者運動の視点からありのまま舎活動を厳しくも温かく導いてくださった一方で、印刷会社に務められておられた関係で「車椅子の青春」のポスターデザインなど数多くの印刷物、書籍を相談しながらサポート下さいました。
菊地さんが生前まとめられた本「光は見えたら」には「山田富也は、口に出したら何が何でも実行する人で、体が動かなくても頭を使って実践する強い信念の男だった。」と記しています。
空の上からふたりに活動を見守っていることと思います。

業務内容

社会保険や労働保険手続・助成金申請代理・会社設立・各種許認可申請・労働や経営相談 他

お気軽にご相談ください。

社会保険労務士・行政書士 須田事務所

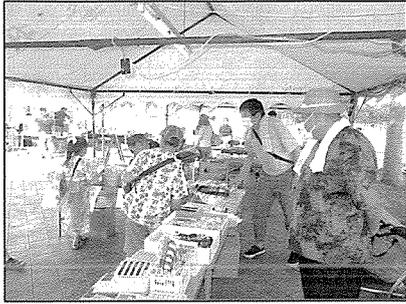
〒981-0916 仙台市青葉区青葉町16-1・2階 TEL: 022-344-8620 FAX: 022-344-8621

西多賀エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

今年では地域の夏祭りが4年ぶりに通常の規模での開催となったところも多かったと思います。自立ホームと太白ありのまま舎が所属している町内会でもそれぞれ夏祭りが開催され、ありのままショップを出店しました。販売のお手伝いで2名の入居者が参加され子どもたちが喜ぶ文具や雑貨を販売しました。

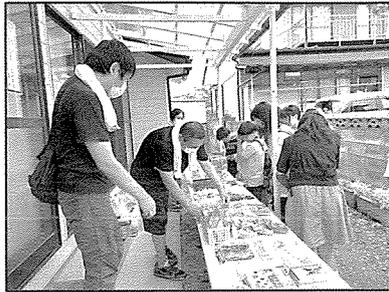
7月29日(土) 14時から太白ありのまま舎の町内会の夏祭りが2日間開催され、そのうち1日の販売に参加させて頂きました。子供たちが多く集まって、どの文房具が良いかお友達と嬉しそうに話しをしながら購入したり、何度も足を運んで頂き、夏祭りを楽しんでいる姿がありました。入居者の方は途中ビンゴ大会に参加したり、出店で食べ物を購入したりしながら、夏



茂庭台夏祭り (7月29日)

祭りに参加することができました。

8月12日(土)は自立ホームが所属する大谷地親和会の夏祭りに参加させて頂きました。曇り空の天気です途中から大雨が降り天候が変わりやすかったです。が、町内会の方が軒下を場所として提供してくださり雨にあらずに販売することができました。ある入居者の方はおまけでもらった雑貨やおもちゃを集めておられ、買ってくれた子どもたちに好きなものを選んでもらい、より楽しさが倍増しました。活動が少しずつ再開され、入居者の方々の活動への参加が増えてきています。(佐藤環)



大谷地親和会夏祭り (8月12日)



【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

サポートケア仙台ありのまま舎では難病、障害のある方が障害福祉サービスを利用する為にサービス等利用計画書を作成しています。福祉サービスを利用したい方の希望や状況に合った事業所さんを探し、提案し、実際に利用して頂けるようにしています。そして、利用が円滑に続くように、支援を行ってくださっている事業所さんと情報共有・連携して支援しています。事業所さんはそれぞれの分野で専門性を活かしてご本人の為に支援を行っています。相談員としては感謝の気持ちで一杯ですが、色々悩みは尽きないようです。ご本人やご家族、事業所内での課題等をお聞きすることがよくあります。内容によっては落ち込んだり、十分な支援に繋がらないといったもどかしさを感じる時もあると思います。困難なことについて、共に支援を行うことは当然のこと、悩みに耳を傾け課題等を共有しながら連携していきたいと思っています。そして、それが利用者さん本人へのより良い支援やご家族の安心へと繋がると思っています。利用者さんご本人を含め、携わる方々が少しでも快くいられるように努めていきたいです。(相澤誠一)

茂庭台エリア

【チャイルドケア 仙台ありのまま舎保育園】

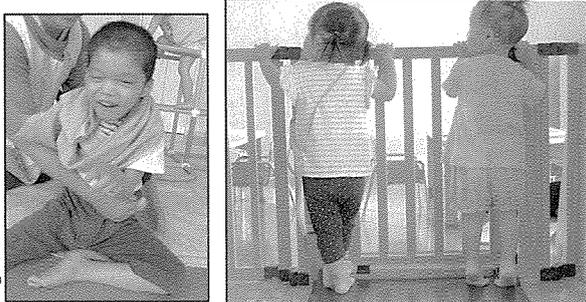
暑さも少しずつ落ち着いてきましたね。昨年より暑さが厳しく、お散歩にはあまり出ることができませんでした。虫も少なかったように思います。

子どもたちも暑さが厳しいというのを、肌で感じていたのでしょう。水遊びは喜んでいましたが外に行きたいということが言わなかったように思います。そのため、今年は水遊びも泡や色水など、ただ水で遊ぶだけではなく様々な工夫を楽しむことができました。おもしろい発見は泡を作る際に食器用洗剤よりもボディーソープの方がきめ細かいモコモコとした泡が作れることです。泡も消えにくく、長く楽しむことができました。



泡や色水を使って水遊びを工夫して楽しみました。

また、金魚すくいならぬミニクリスタルでできたミニカーをたらいに入れてスコップですくいます。コップを掴んで上手にすくう子と一つ一つ水を捨てながらすくう子など、それぞれ興味深い姿が見られました。今後自然環境の変化によって遊びの制限があることも出てくるでしょう。その時に、その環境でも十分に楽しめる遊びを提供できるように、常に引き出しを増やしていきたいと学んだ夏となりました。(春日麻里)



暑さが厳しくお部屋で遊ぶ機会が多くなりました。

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
〔栄養マネジメント〕

9月は健康増進普及月間です。厚生労働省より9月1日〜30日までの1か月間を健康増進普及月間と定め、「1に運動 2に食事 3に禁煙 最後はクスリ」健康寿命の延伸を統一標語とし、全国的に普及啓発活動を行っています。

運動は「歩いて買い物へ行く」「階段を利用する」「テレビを見ながらストレッチを行う」などを動かす機会は身の回りにたくさんあります。どこかでプラス10分多く動き、健康寿命を延ばしましょう。

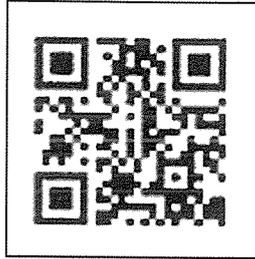
食事は野菜をもう一皿食べましょう。野菜の平均摂取量は278グラムで目標の350グラムより約72グラム不足しています。いつもの食事にもう一皿野菜をプラスしましょう。また、おやつのお菓子の過ぎは体にも悪い影響を与えてしまう為、嗜み程度で、お召し上がりください。

太白ありのまま舎でもデザートバイキングを毎月実施していますが、普段食事制限がある方もこの日は特別にお召し上がり頂いています。何事もメリハリが大切です。やる時はやる、休む時は休む事が継続につながります。・・・と私自身にも言い聞かしていきたいと思えます。

季節の変わり目、体調を崩しやすい時期ですが、負けずに頑張っていきたいと思います。
(佐藤佳奈)



縁日風に飾りつけされたデザートバイキング!



当舎ホームページのQRコードです。各事業所の施設概要、活動の様子をお伝えしています。

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎】
〔難病・障害者相談支援センター〕

今年度も精神保健福祉士になるための実習に来ている学生さんにインタビューしました。実習生のSさんは8月中旬から当事業所で精神保健福祉援助実習を十七日間行います。精神保健福祉士だけではなく、社会福祉士の国家資格取得のために頑張られています。

一、頑張っていること

来たる国家試験はダブル受験となるので、ダブル合格を目指す夏休みも学校に通い、ゼミの友人たちと試験対策の勉強をしていたとのこと。

二、楽しみにしていること

週二日、バッテリーセンターに通っていますが、新しいバッテリーンググローブを買ったので、使うのが楽しみとのこと。

三、目標について

まずは、国家試験の模試が近いので、合格点を取ること。それとバッテリーングセンターで130kmのポールを打てるようになることだそうです。

今年度で二度目の実習生受入となりましたが、自らの業務を整理し、実習生に対し根拠をもつて説明できる良い機会になっていると感じています。

(佐々木晃)

巨理エリア

【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎】
〔メディカル〕

2019年に感染が報告された新型コロナウイルスですが、かれこれ4年が経過致しました。巨理では初期の段階からゾーンエリアを設け、実際に感染者が出た場合を想定したシミュレーションを行い、現在も毎月継続して実施しています。幸い、入居者の方に感染者は出ておらず、ゾーンエリアを使用することなく生活できています。

5月に感染症法上分類が5類に引き下げられ、外出や旅行の制限等が緩和されました。入居者の方の中には夏祭りに出掛けられたりお墓参りをされて来た方もおり、少しずつではありますが、コロナ前の生活に戻りつつあります。

まだまだ感染者が多く気が抜けない毎日ですが、過剰に恐れることはなく、感染対策の基本をしつかり守り、楽しみを増やしながらい入居者の方には生活して頂きたいと思えます。

(加藤真紀)

TOTAL assist 超保険

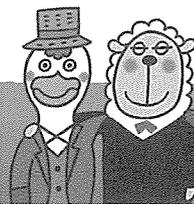
東京海上日動の

生損保 一体型保険

超保険なら! あなたにムダなくモレなく超ぴったり。

損害保険のお引受けは東京海上日動火災保険(株)、
生命保険のお引受けは東京海上日動あんしん生命保険(株)になります。

東京海上日動



あんしん
セキスイ

TOKIOMARINE
NICHIDO

東京海上日動 仙台支店 仙台中央支社

宮城県仙台市青葉区中央2-8-16 仙台東京海上日動ビルディング9階 〒980-8460
超保険カスタマーセンター0120-323-523 www.tokiomarine-nichido.co.jp

To Be a Good Company

【サポートケア県南ありのまま舎
「難病・障害者相談支援センター」】

例年になく厳しい暑さが続いた8月でしたが、相談利用いただいている皆さんから熱中症などの体調を崩されたことのお話を頂いていないことにまずは少し安心しております。むしろ積極的に活動されていることのお話と共にそのための色々なお手伝いをさせてもらっています。

比較的多かったのは就労に関することで、高等部在学中の方で来春の卒業後の進路を見据えての就労にかかる評価を受けるため短期間就労移行支援事業所を利用するためのお手伝い、仕事をしていくための選択の中で就労継続支援事業所を利用するための見学、体験利用、利用までのお手伝いなどが多くあった印象です。

皆さんそれぞれ熱心に希望に向けた取り組みをされて、実際の利用に繋がっている方が多くいることはお手伝いさせていただいている当事業所にとってもとても嬉しいことです。一方で気持ち落ち着かずには休息のための入院を余儀なくされている方もおり、早く地域に帰ってきて穏やかに暮らすための相談を病院の相談員さんと進めているといったこともありますが、これからも様々なことに一緒に向き合っていきたいと思えます。

(齋藤栄樹)

【サポートケア巨理ありのまま舎
「支援センター」】

8月2日(水)、地域の相談支援強化事業として又村あおい氏(全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長)を講師にお招きし「障害者総合支援法・児童福祉法の改正と協議会の重要性」と題し、支援者30名の参加となり対面式での開催となりました。児童福祉法の改正では各地の児童発達支援センターが地域における学齢期を含めた障害児支援の中核的役割を担うこととの明確化や、障害種別にかかわらず障害児を支援でききるよう福祉型と医療型を一元化する等、巨理町において児童発達支援センターの設置が急務であること実感致しました。また、総合支援の改正ではグループホームの支援内容に居室における自立した日常生活への移行支援が追加されることや就労アセスメントの新サービス(就労選択支援)の創設し、これまで就労移行支援などが行っていたアセスメント機能を独立したサービスとして位置づける等、ご講話頂きました。

また、協議会の運用についてもご講話頂きあらためて、協議会の重要性を認識致すことができました。来年度も支援者のニーズをうかがいながら研修づくりを企画致したいと思えますので宜しくお願い申し上げます。

(菊地理)

「支援頂きありがとうございます
ございました(敬称略)」

【バザー提供】
23 7/27〜8/30



【ボトルカンパ】

23 6/27〜8/26
PROMART今泉店

(若林区) 15, 186円
フレッシュフードモリヤ様から、業務用食品スーパードとしてリニューアルされました。一般のお客様も従来通り利用でき、お買い得品が盛り沢山でお買い物楽しくなるお店です。

(鈴木一彦)

皆様からのご支援に感謝申し上げます。

【バザー開催日のご案内】

- 2023年10月
- 3日(火) ヨークベニマル山田鉤取店 (太白区)
- 5日(木) ヨークマルシェ大和町店 (若林区)
- 10日(火) ヨークベニマル南吉成店 (青葉区)
- 12日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちほ (宮城野区)
- 17日(火) ヤマザワ茂庭店 (太白区)
- 21日(土) ありのままショップセール (仙台ありのまま舎)
- 26日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちほ (宮城野区)
- 31日(火) 袋原(向日葵ライブポートセンター・太白区)

「協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台ホサナ教会の皆様にご協力をお願いしながらお手伝いいただきました。◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道) ◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」 ◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」など施設内で行う活動は引き続きお休みさせていただいております。

今年の暑さは去年に比べると大変厳しく感じております。室内で会報の作業をされているとはいえ、暑い中足を運んで下さる皆様、バザー会場でお手伝いして下さる皆様には心から感謝しております。まだまだ暑さ厳しい日が続きますので、お大切にお過ごし下さい。(遠藤寿子)



【ボトルカンパ】

お店に設置させて頂いているボトル。沢山の硬貨をお寄せ頂いています。設置いただけるお店がありましたらご一報ください。

